

国民世論を無視し、周辺住民の生命・安全より電力会社の利益を優先する高浜原発3号機の再稼働に断固抗議する

2016年1月29日
原発をなくす全国連絡会

関西電力は本日、「原発再稼働反対」の国民世論を無視し、高浜原発3号機の再稼働を強行しました。このことは周辺住民の生命や安全より電力会社利益を優先する暴挙であり、断じて認められません。断固抗議するとともに再稼働をただちに中止することを求めます。

昨年8月まで1年11ヶ月ものあいだ原発ゼロで国内の電力供給をまかなえたことが事実で証明されており、原発再稼働を強行する根拠はまったくありません。

福島第1原発事故から4年10ヶ月経った今も、約10万人の人びとがふるさとを奪われ、避難生活を余儀なくされています。復興住宅の建設も進まず、劣悪な仮設住宅での生活を強いられる中で身体や心の健康を害する人が増加し、被災者の救済すら終わっていません。そもそも福島第1原発事故は収束しておらず、原因究明すらできていません。

原子力発電はひとたび事故が起これば「制御不能」な未熟な技術であり、放射性物質が外部に漏れれば広範囲に被害が拡散し、長期にわたって環境を汚染するとともに国民の生命や健康を脅かすことは明らかです。

さらに高浜原発の過酷事故時の避難計画策定も遅れている現状にあり、30キロ圏内に京都府や滋賀県の自治体が含まれているにもかかわらず、説明や同意さえないまま、旧来の地元自治体同意（県と高浜町）だけで再稼働を容認することは断じて許されません。

私たち原発をなくす全国連絡会は、民意を無視し、危険な原発再稼働を強行した国と関西電力に対して断固抗議します。

以上